

SG460、SG460NS シリーズ

SG460、SG460NS シリーズは、ポリエチレン、ポリプロピレン等のコンテナおよび金属塗装板用のインキです。通常のエポキシ系インキよりも、耐候性、耐薬品性、耐湿性の点で優れています。NSシリーズはSG460のノンシリコンタイプです。

ガラス、強化ガラスなどへ印刷される場合は、CARE178を併用することで、密着性、耐煮沸性が向上いたします。

タイプ

ウレタン系

2液イソシアネート硬化型 (常温硬化可：プラスチック素材)

3液硬化型 (主剤+イソシアネート+CARE178) (加熱硬化型：ガラス素材)

用途

フレーム処理などの表面処理されたポリエチレン(PE)、ポリプロピレン(PP)等のコンテナおよび金属塗装板への印刷に適しています。

3液型にすることで、ガラス、強化ガラスへの密着性、煮沸性に優れます。

特徴

平滑性に優れ、グロス (艶あり) の仕上がりになります。

耐候性、耐酸性、耐アルカリ性、耐溶剤性、耐水性、耐摩耗性に優れています。

稀釈溶剤

標準溶剤 T-976

遅乾溶剤 T-980

硬化剤混合

プラスチック素材の場合

混合比 インキ：硬化剤=70：30 (スタンダード色)

インキ：硬化剤=60：40 (透明色)

インキ：硬化剤=40：30 (800メジューム)

ガラス素材の場合

混合比 インキ：硬化剤：CARE178=70：30：5 (スタンダード色)

インキ：硬化剤：CARE178=60：40：5 (透明色)

インキ：硬化剤：CARE178=40：30：3.5 (800メジューム)

色により異なる場合があるので、ご注意ください。

混合したインキは常温で約10時間経過すると、ゲル化や物性の低下を起こします。

洗浄溶剤

T-31

印刷

スクリーンメッシュ テトロンまたはナイロンの 200～300 メッシュをお勧めします。

乾燥

プラスチック素材の場合

常温 25℃20-30 時間 (指触乾燥は 2 時間)

焼付 80℃40 分

120℃20 分

ガラス素材の場合

100℃以上×20 分

その他

- ・ SG460 硬化剤は、湿気に対して非常に敏感に反応します。開缶後はできるだけ早くご使用ください。

参考資料 (性能表は弊社での試験値であり、性能を保証するものではありません。)

印刷被膜性能表

試験項目	試験内容	評価
硬度	鉛筆硬度 45° (荷重 1Kg)	H
密着性	クロスカットセロテープ剥離	100/100
耐水性	水道水中に 2 4 時間浸漬	異常なし
耐湿性	40℃90%RH 中に 120 時間	異常なし
耐塩水性	5%食塩水溶液中に 10 日間浸漬	異常なし
耐酸性	0.1 規定硫酸水溶液に 2 4 時間浸漬	異常なし
耐アルカリ性	0.1 規定水酸化ナトリウム水溶液に 24 時間浸漬	異常なし
耐トルエン性	トルエン中に 24 時間	異常なし
耐ガソリン性	ガソリン中に 24 時間浸漬	異常なし
耐メタノール摩耗性	漬した布で往復摩耗 100 回 (荷重 500g)	異常なし
耐トルエン摩耗性	漬した布で往復摩耗 100 回 (荷重 500g)	異常なし
耐摩擦性試験	カナキン 3 号 1Kg×500 回ラビング	異常なし
耐熱性試験	70℃×48 時間	異常なし
耐冷熱サイクル性試験	(80℃×2.5 時間→常温×0.5 時間→ -20℃×2.5 時間→常温×0.5 時間) 4 サイクル	異常なし
耐候性試験	ウェザオメーター (スガ試験機 WEL-SUN- DC 型サンシャイン) 1000 時間照射	合格

印刷条件 (平成 11 年 1 月 8 日)

インキ : SG460 120 ホワイト /710 ブラック

素材 : 処理 PP、塗装板

乾燥 : 60℃×30 分+4 日間放置

自然乾燥 (20-25℃) 乾燥 1 週間